

り継ぎ駅の設置については、現計画では想定していないが、新幹線を効果的に活用することは大村市のまちづくりに極めて重要な課題である。したがって、市議会、市民のご意見を聞きながら、総合的な視点から検討していきたい。財政負担については、16億円から32億円の範囲ではないかと推定している。

②大村市の人口は、順調に行けば近い将来10万人を達成する可能性があると考えている。このような中、大村市は一定の財政規模と人口規模を有しており、行財政基盤が比較的安定しているという位置付けにより、具体的な合併の組み合わせは示されていない。今後とも、道州制の動向や東彼3町の合併の状況等、十分関心を持ちながら、まずは10万都市を目指し、財政の健全化に全力を注ぎたい。

(その他の質問事項)

・キリスト教関連遺産の世界遺産暫定リストに大村市も入れるよう、県に働きかけを。
・障害者の害をひらがな表示に。



行財政改革は

ムダをなくすことから

伊川議員

(1) 施設方針について
① 公共事業のムダをなくす取り組みについて

上諏訪橋の上から雄ヶ原に至る市道の拡幅工事において、舗装された歩道が、間もなく掘り返され下水道工事が行われた。

その経過と、このようなムダをなくすための対策をどのように考えられているか。全体の調整が必要なのではないか。

② 歩道の舗装の違いについて

最近、市道のカラー舗装や久原池田線のようなレンガ舗装など、見た目も美しく豪華ともいえる歩道が整備されている。金額も高いと思うがどのような基準で使い分けられているのか。

(2) 騒音対策について

海上自衛隊のヘリコプターの訓練等による騒音問題は本市の長年の懸案となっている。先日古賀島西町内会より騒音対策に対する要望書が市長あてに出された。市長の決意と見通しは。

都市整備部長

(1) ①ご指摘の箇所は道路改良工事の実施後に、宅地開発申請に伴い下水道接続について緊急の要望があり、下水

道部局との協議により歩道内に布設することで下水道管渠の埋設を許可したものである。

従来から、道路工事においては、道路の掘り返し防止を図るために、毎年4月に市、九州電力、N T T等の工事関係部署が集まり掘削協議会を開催して、工事情報の交換と調整を行っている。今後さらに関係部署との計画、連携等を図っていきたい。

② 現在施工している箇所は、経済性や景観を考慮してカラー舗装を実施している。舗装の違いの明確な基準というものは無いが、できるだけ景観に配慮した舗装を心がけている。

市長

(2) 長年、地域住民の方々の市民生活に大きな影響を与えている。これまで国に対して要望を重ねてきたが、いまだ解決に至っていない。具体的な対策としては基地敷地以外で訓練についての可能性を探り、実現化について努力したい。また、住宅の防音工事の実施のための地域指定等について引き続き要請していく。今後も最重要課題の一つとして取り組んでいきたい。

(その他の質問事項)

・大村市次世代政策研究事業
・学校給食に地元産品を！
・新駅前団地予定地周辺の水田への配慮について。

食料の自給率低下が続く中、輸入農産物に頼る食生活の不安今こそ、国内農業の充実を図り地産地消の重要性を再確認

山口議員

(1) 食材の安全性について

① 中国の加工輸入食材の安全性に疑問符がつく中、大村市の学校給食における輸入食材の取り扱い量及び安全性について、十分な確保がなされているのかお尋ねします。

② 学校給食調理場の新たな建設については、平成23年度より1ヶ所集中による、センター方式を計画されております。その場合、食材については、大量仕入、大量加工処理となり、輸入食材の取り扱い量が増える事が懸念されますが、今回の輸入食材の事件を受けて、給食調理場の建設計画の見直しを含めた再検討の余地があるのではないかと考えますが、見解をお尋ねします。

(2) 昨年の9月議会に陳情も出されておりましたが、三浦地区南部グラウンドの整備について、早急の実施していただく見通しがあるのかお尋ねします。

教育長

(1) ① 学校給食における食材の安全については万全を期している。学校を通じて保護者の方にもお知らせしている。加工冷凍食品については、検査成績